



富山市立 八尾小学校

校長：小林 福治 先生

指導教諭：善光 充洋 先生
吉藤寿美栄 先生

発表児童：6年松・竹組 8名



今年度富山市となった八尾町は、富山市の南部に位置し、井田川を始めその支流でつくられた町です。八尾小学校は富山市八尾町地区の中でも旧町部にあり、2年前に中山間地の4つの学校と再編され、新生八尾小学校として出発しました。

校区は豊かな自然に恵まれ、「おわら」や「曳山」など伝統文化が息づいています。本校では地域のよさや特徴を生かした教育を推進しており、384名の子供たちが毎日元気に過ごしています。



発表テーマ

水に学ぶ ～八尾の水はだいじょうぶ？～

井田川をはじめ、八尾はその支流でつくられた町です。その川の水に注目して5年生では理科の学習から流れる水のパワーを探ってきました。またその際、神通川の河口で見たごみの様子から、今年度は総合的な学習で追究してきた「八尾の水はだいじょうぶ？」という課題について、川の上流に住むわたしたちにできることを考えてきました。

善光 充洋 先生より

水、そしてふるさとを大切にすること

普段何気なく見ていた水が汚れていることに強い驚きを感じ、研究を進めていった子供たち。その中で、酸性雨や汚水の影響についての理解を深め、水を守る活動を実践していくことができました。これからも、全ての生き物の命のもとである水を守っていくと共にふるさとを大切にすることをお願いしています。

吉藤 寿美栄 先生より

水とのかかわりから、ふるさとを愛する心を

子供たちは2年間にわたって「水」にかかわってきました。川の水の力に驚き、体験を通してそのすばらしさを感じてきました。また自分にとって身近な水について調査・追究を進め、自分たちが守っていくことの大切さや自然の雄大さなどを実感できたようです。ふるさと富山をこれからも大切にしていきたいと思っています。



▲野積川の上流で、流れのスピードや水の力を、自分たちの体で感じました。



▲川の水、井戸水、雨水など、いろいろな水を調べました。

▲川は合流しながら川幅を広げて下流へと流れていました。

考えたこと 感じたこと

水みらい プロジェクトで 発表して

高尾 瑞季(6年生)

水みらいプロジェクトに参加しました。他の学校の人たちの発表を聞いてすごいと感心しました。

八尾小学校の順番になりステージに上がりました。練習をしっかりと、自信があったので、緊張感がわくわくした気持ちになりました。わたしにとって水とのかかわりを考えるよい体験になりました。

大切な水、そして自分にできること

坂本 絵美(6年生)

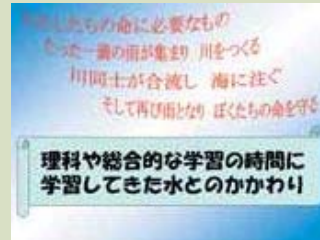
いつも何気なく水を使っていましたが、この追究をして自分には何ができるか考えることができました。洗剤をつけすぎたり、水を流しっぱなしにしたりしないということ、水を大切に使うことの重要性を学びました。また自分たちの調べたことを大勢の人の前で発表することで、自分に自信ができました。



学習テーマの設定

水を見つめた2年間

透き通ったおだやかな流れ、雨でにごった激しい流れなど、川はいろいろな表情を見せてくれます。私たちは5年生の時に実験したり観察した川のパワーを、6年になり実際の川で探ることにしました。



上流から下流で活動
川を上流から下流まで、さまざまな角度から観察し、調査し、感じながら、八尾の水がだいじょうぶなのかを追究し、上流でくらす自分たちに何ができるか考えました。

学習の展開

水の力を体で感じる

野積(のづみ)川の上流で、流れる水のパワーを探ることから活動を始めました。水の流れの速いところ、ゆっくりしたところがはっきりわかり、大きな石を動かし変化させる水のすごい力も感じました。



神通川の下流を見て考えたこと



河口のゴミにびっくり
川をたどりながら下流へ、河口へと行くほどに川原の石は砂へと変化していきました。いちばんおどろいたのは河口にたまったゴミの多さ。上流にすむ私たちが流したゴミもあるのかもしれない。

八尾の雨は酸性だった

水は見ためではわからないことも多く、PH(ペーハー)を調べて八尾の雨水や川の水が酸性であると確かめました。酸性の水で植物を育てると2日ほどで枯れてしまい、酸性雨のこわさを実感しました。



実験や観察から考えたこと



自分たちに何ができる？
みんなで調べた結果「八尾の水はだいじょうぶではない」と思いました。いのちのものである自然の水が、私たちの生活から出る水に悪影響を受けている…。そこで自分たちに何ができるか考えました。

いのちのために

近くへ行くときは車を使わない、使う洗剤を減らす、水をムダ使しないなど、一人でも多くの方が実行すれば、きっと水はだいじょうぶ。すべての生き物のために、みなさん一緒に水を守っていきましょう！

